

5歳児

幼児が遊びや活動で経験していることを「文字・言葉」「数量・図形」「自然」の3つの観点から読み取り、小学校の学習との連続性を整理した。また、小学校内に設置した「ななはけラボ」を活用した活動や、小学生との交流活動などを通して、幼児が小学校でも安心して自ら人や物と関わることができるようにした。さらに、小学生に親しみをもったり、就学への期待が高まったりするよう援助してきた。

文字・言葉

自分の思いを自分なりの言葉で伝えながら遊び、安心して自己を表現する。

クレープ屋さんごっこ。「お店に必要なものは何だろう?」「レジを作ったらどうかかな?」



「こうやってビーズが通る道をつなげるのはどうかかな。」「いいね、やってみよう。」



夏祭りでお店屋さんごっこ。何を売ろうか、どんなお店にしようか、みんなで考えたよ。

友達の思いを受け止める中で、自分と違う考えがあることに気付く。

数量・図形

様々な素材や遊具に触れ、試したり工夫したりして遊ぶ中で、そのものの特徴や性質に気付いたり、形や数に関心をもったりする。



お休み調べをしているよ。「今日は2人お休みだから、来ている人は24人だね!」



収穫したソラマメを分けているよ。「大きいのは年長組、中くらは年中組、小さいのは年少組にあげるのどうかかな?」



色水遊び。「水の量を変えると、色の濃さが変わるね!」「メロン味のジュースにするには、どれくらい水を入れようか?」

自然

身の回りの植物や生き物に関心をもち、発見したことを伝え合ったり、変化に気付いたりする。



ピオトープでオタマジャクシを発見。「足が生えてきている!」

サツマイモの苗植え。「大きく育つには、お日様の光とお水が大切なんだって。」



ミニトマトの収穫。「赤くなったから、食べごろかな?」

友達と考えを出し合って話し合い、工夫をすることで、遊びがより面白くなることを十分に味わう。



リレーの作戦会議。「腕をたくさん振って走ったら速くなるんじゃないかな?」



「面白そうだから発見したから新聞にしてみんなに知らせよう!」



実習生のお別れ会準備。「たくさん一緒に遊んでくれたから“ありがとう”って書きたいな!」

表現参観の劇で作った作品を「ななはけラボ」に飾って展覧会ごっこをしたよ。「小学生に工夫したことを伝えたいな。」



自分の感じたことや考えたことを相手にわかるように伝えたり、相手の気持ちを考えながら発言したりする。

遊びに必要な物の数や人数を考えたり、大きさを考えて遊びの場を構成したりする。



リレーをするよ。「2つのチームを同じ人数にするには、どうやって決めたらいいかな?」



「サッカーの得点ができるように、得点表を作ったらどうかかな?」



みんなでライブごっこ。「お客さんの椅子は何脚置こうかな?」

身近な自然への関心を深め、考えたり試したりして取り入れて遊んだり、疑問に思ったことを調べたりする。



野菜を収穫したらアオムシがいたよ。「どんな名前なんだろう?図鑑で調べてみよう!」



園庭に咲いている花や草を使って色水遊び。「綺麗な色になったよ!」



「ドングリよりヒメリンゴのほうがよく転がるよ。」「坂が急すぎるよ!上手く転がらないね。」